

# 石川民医連 模擬患者会（SP会）のぞみ会の活動紹介

## 模擬患者会とは？

「患者を演ずる中で抱いた気持ちを伝える人」を模擬患者と呼んでいます。

医療コミュニケーションの上達には現場で経験を重ねることが大切です。医療人の経験不足のために、診療が期待通りに進まないこともあります。それを防ぐために、高いコミュニケーション能力を持った医療人の育成が望まれています。

医療現場でコミュニケーションが大切な場面（臨床場面）をあらかじめ設定し、学習者となる医療人が患者さん役と会話のやりとり（医療面接といいます）を練習します。このやりとりで多くの気づきを与えられ、コミュニケーションの取り方が変化していきます。模擬患者（SP）さんはボランティアとして活動しており、医療者のコミュニケーション能力を向上させる役割を担っています。

“のぞみ会”は北陸3県のボランティアグループで、自主的に学習や交流会を行っています。面接技術を高めることで、医療者がコミュニケーション技術を高め、患者さんがよりよい医療を受けられるよう、活動をすすめています。



# 石川民医連 模擬患者会（SP会）のぞみ会の活動紹介

## 医療コミュニケーションの重要性



病院で医師や看護師をはじめ医療技術者の言葉が専門的でわかりにくい、検査やお薬の説明が一方向的で少し不快に感じるなどの意見がきかれることがあります。

コミュニケーションによって、医療を提供する側と患者の間に信頼関係が生まれ、それが治療方針にも良い方向に大きく働くと言うことが多くあります。心を開けない間柄では、医師も細かい症状を得ることが難しく、的確な治療が施されません。人と接する仕事である限り、コミュニケーションは必須で、医療現場においてはなおさらです。



医療におけるコミュニケーションへの関心は高まってきています。しかし、診療現場におけるコミュニケーション・スキルに関する教育や研修プログラムが少ないため、経験に左右されている現状が見受けられます。昨今、医（薬）学教育の中に、模擬患者（SP）が参加する教育の機会が位置付けられてきています。さらに医療現場に出た後もコミュニケーションの学習を継続することが大切です。

# 石川民医連 模擬患者会（SP会）のぞみ会の活動紹介

## 北陸3県民医連のぞみ会のこの間の取り組み

- 2001年 石川民医連の呼びかけで、医療生協さいたまのSPさんを招いての学習会を開催（福井・富山・石川民医連から参加）以降北陸3県で定期交流会を開催。
- 2003年 北陸3県で医学生へのOSCE対策講座を開く。以降3県の会議を毎月開催。OSCE対策講座は毎年実施。
- 2007年 県立看護大学からの申し出で、2・3年生対象の模擬患者演習を開始  
※2013年まで毎年参加
- 2009年 北陸3県のものぞみ会で模擬患者育成のためのブックレット作成
- 2013年 北陸3県ものぞみ会が各県で独自に例会を開催（隔月）  
前田順子さん（岡山SP研修会代表）を招いての学習会開催
- 2014年 3月 東海SPネットワーク研究会（3名参加）  
11月 大阪医科大学（総合診療科）鈴木富雄医師を招いての学習交流会開催  
12月 SP養成講座を「市民講座」として開催。講師に岐阜大学、藤崎和彦医師を招く。
- 2015年 富山のぞみ会が活動休止となり、以降福井・石川で合同例会を毎月開催

### 【2016年に実施したセッション】

- 2016年2月 研修医の医療面接  
6月 看護師2年目研修医療面接  
11月 薬学生OSCEセッション



# 石川民医連 模擬患者会（SP会）のぞみ会の活動紹介

あなたも模擬患者として、  
「医療の質の向上」に貢献しませんか？

のぞみ会では毎月第2土曜の午後、例会を開催し模擬患者の学習を重ねてきています。殆どの方が初めての経験となりますが、学習や体験を重ねる中で、リアルな模擬患者さんを演じることができるようになります。

**まずはのぞみ会例会の様子を見学ください！**

のぞみ会の例会見学など、お問い合わせは下記までお願いします。

石川勤労者医療協会 城北病院(医局) いなもと 稲元まで。

076-251-6111 電話 090-6274-0142(稲元)

✉ [inaiku194@gmail.com](mailto:inaiku194@gmail.com)

